

地域密着型通所介護・運営推進会議（議事録）

平成30年9月25日（火）

18:00 ~ 19:30

デイサービスセンター共楽苑にて

会議出席者

- ・佐々木俊博 委員（益田地域介護支援専門員協会前会長・くしろ宝寿苑施設長）
- ・品川弥次 委員（西南地区児童民生委員協議会会長）
- ・中島保 委員（美濃地区社会福祉協議会元会長）
- ・豊田繁雄 委員（二条地区連合自治会長）
- ・永井安行 委員（利用者代表）
- ・永井待子 委員（利用者代表）
- ・佐田惇子 委員（利用者代表）
- ・岡崎トメ子 委員（利用者代表） わかくさ福祉会より
- ・石川恵里佳 委員（益田市高齢者福祉課） ・岡崎正興・又賀信子

1. 「地域密着型通所介護 運営推進会議」前回のふりかえり

① 改修工事の終了報告

トレーニングマシンの移動も完了し、5月から実施できている。

② 実地指導の報告

平成30年1月18日に行われた共楽苑の実地指導の結果報告を行った。

③ 消防訓練の報告

前年度の消防訓練の報告を行った。

④ ご意見・ご要望

上記については、前回の内容であったが、今回も前回の議事録を再確認しながら振り返りを行った。

2. 平成29年度の事業報告

平成29年度の事業報告を行った。 **※別紙参照**

☆通所介護事業

27年度・28年度に比較して利用者減少となっている。要因としては、①人口の減少、②ケアマネの利用者数の減少、施設入所の方が増えてきたこと、③工事期間だったため受け入れが出来ない期間があった、等が考えられる。

・語句の訂正

「原則として日曜日を除く週5日の営業であり」→「原則として日曜日を除く週6日の営業であり」

- ・予防・総合事業（要支援）の利用者の方については、単位が低いために「時短」の方向も考えたが、いまのところ現状維持としている。同時並行・同じ時間帯でご利用頂いている。

☆訪問介護事業

- ・継続中。

☆訪問入浴介護事業

- ・廃止した。（5月1日より）

☆居宅介護支援事業

- ・2人体制で行っている。今年度に入ってから利用者が減少している。

☆その他の事業

- ・配食サービスは、昨年よりは微増傾向である。独居の方が多く、1人あたりの利用頻度が高くなっている。ただし、益田市の認定が出ない傾向があり、法人認定で利用している方もいる。
- ・配食について、量が少ないという意見があった。メニュー希望や量について、アンケートを取る方法もある。
- ・障がいヘルパーについては、現在利用者は山口県萩市の1名である。益田市の方でも希望があれば受け入れていきたい。

3. 益田市広域消防による立入検査の報告

- ・平成30年4月24日（火）に広域消防による立入検査があった。
1日の基準利用者数を超えると防火管理責任者をおき、届出をして訓練しなければならない。建物をつないだりして「建物面積」の基準を超えると、消防法令違反となる場合がある。防災品の使用について確認が行われた。

4 ご意見・ご要望

- ・自然災害や火事を想定した避難訓練について
水害・地震・大雨・大雪（凍結）等についてのケースについて話し合った。
消火訓練を実施するときは、地域の方々も参加して頂けるよう工夫したい。
- ・成年後見制度について
どのような制度であるかについて話し合った。
共楽苑も（わかさ福祉会も）法人として後見活動を行っていききたい。
益田市が社協に委託して行っている市民後見人養成研修に参加している。
- ・地域の団体、集まりとの連携について
柏原地区には「ニコニコ会」がある、有田地区には「八十路会」がある、等々、苑を利用されていない方々が集まる会があるので、連携を深めていけたら良いのではないかと。
来年もわらびとり、ひまわり見学、たけのことり 等、参加出来るようにしたい。
- ・利用者の減少について
人口減少により、デイの利用者も減少している。委員のみなさま方には、地域からあがってくる要望を遠慮無く知らせて頂き、より良いデイサービスを目指していきたい。